

記入日	2016年7月3日	作成者	大澤一秋
大項目	歴史	中項目	近世
<p>【問 題】※40から50字程度で簡潔に。</p> <p>江戸時代末に関宿江戸町から筵打（むしろうち）までの約20Kmに及ぶ「関宿落堀（せきやどおとしぼり）」を建設した人は誰？</p>			
<p>【選択肢】※短答の4択とする。</p> <p>①岡部長盛（おかべながもり）</p> <p>②徳川慶喜（とくがわよしのぶ）</p> <p>③船橋随庵（ふなばしずいあん）</p> <p>④ムルデル</p>			
<p>【正 解】</p> <p>③船橋随庵（ふなばしずいあん）</p>			
<p>【解 説】※200字程度で簡潔に。名所・旧跡は写真撮影をする。</p> <p>関宿藩中老だった船橋随庵は若い頃に治水工事を学びました。</p> <p>本来、関宿落堀は関宿城内に溜まった水を城外に逃がすための排水路だったようですが、随庵が治水工事を行ったことで、水害から村々を守ったり、利用できなかった土地を米や作物を生産できるようにする一方で、農民に対して新しい土地の配分も行いました。</p>			
問題と解説の出典	書 籍 名	野田紀行	
	出 版 社	野田市	
	発 行 年	平成17年3月31日	
	該当ページ	P15からP16	

記入日	2016年7月3日	作成者	大澤一秋
大項目	自然・地理	中項目	樹木
<p>【問 題】※40から50字程度で簡潔に。</p> <p>野田市の木はなに？</p>			
<p>【選択肢】※短答の4択とする。</p> <p>①桜（さくら） ②欒（けやき） ③欒（いちい） ④松（まつ）</p>			
<p>【正 解】</p> <p>②欒（けやき）</p>			
<p>【解 説】※200字程度で簡潔に。名所・旧跡は写真撮影をする。</p> <p>武蔵野の面影を残す貴重な木といわれている「けやき」が、野田市の木に指定されたのは昭和45年。第28回千葉国体の正式決定を記念して、郷土緑化推進運動の一環として選定したものです。③欒（いちい）は旧関宿町の木。</p>			
問題と解説の出典	書 籍 名	野田散策	
	出 版 社	野田市商工課・野田市観光協会	
	発 行 年	2004年3月	
	該当ページ	裏表紙	